

第21回 福岡県地域エネルギー政策研究会 日下座長 総括コメント

- 本日、第21回福岡県地域エネルギー政策研究会を開催し、検討テーマを「長期エネルギー需給見通し（エネルギーミックス）を踏まえた今後の地方の取組み」、サブテーマを「環境にも配慮したエネルギーが安価かつ安定的に供給される社会の実現に向けて」として、特にバイオマスに重点を置いた議論を行いました。
- 今回の研究会では、まず事務局から「これまでの経過」として、前回の議論の概要について、報告がありました。
- 次に、農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課の坂課長補佐から、「バイオマス活用の推進について」と題したご講演をいただきました。
講演では、国の指針やロードマップ等を基に、バイオマス活用推進に向けた国の取組みや、全国の先進事例などの情報をご教示いただきました。
今後の地方の取組みを考える上でも、貴重な情報をご提供いただけたと、坂課長補佐には感謝しております。
- 次に、みやま市・宗像市から、「バイオマス産業都市構想」に基づく各市の取組みについて、ご紹介いただきました。
- 次に、事務局から、「市町村のエネルギー関連施策に対する支援状況と成果」について、報告がありました。
- 次に、原田委員代理（九州大学）から、九州大学が県・春日市と連携して行うエネルギーマネジメントの取組みについてご報告いただきました。
- 最後に、これらの講演・報告を基に、地域資源を活用したバイオマス利活用の拡大に向けて、地方が果たすべき役割について委員間で討議を行いました。
- 各委員からの積極的な意見・助言により、「長期エネルギー需給見通しを踏まえた今後の地方の取組み」として、地域資源を活用したバイオマス利活用の拡大に向けた検討の方向性が示されましたので、県をはじめ各主体におかれては、今後の取組みに活かしていただきたいと思いますと考えております。